

北方四島の自然

豊かな海と緑に囲まれた北方四島は、我が国にとってかけがえのない土地である。

北方四島には、ヒグマ、キツネ、イタチなど、周辺水域にはゴマフアザラシ、トド、クジラ、イルカ、ラッコなどが生息している。また、渡り鳥や水鳥も多く、シマフクロウやエトピリカなどの珍しい鳥も生息している。



エトピリカ(NPO法人北の海の動物センター提供)



エゾカンゾウ



四島沖に生息するラッコ
(NPO法人北の海の動物センター提供)



国後島・爺爺岳



色丹島・穴澗湾の夕焼け



独立行政法人北方領土問題対策協会HP
(<http://www.hoppou.go.jp/>)より

北方四島の気候は、左図のように2つの海流の影響により年間を通じて寒暖の差が小さく、北海道東部とほとんど変わらない。

最も暑い8月の平均気温は15度前後、最も寒い2月の平均気温はマイナス6度前後である。夏季を中心に霧が多く発生するが、積雪はそれほど多くない。年間平均降水量は1,100mmから1,300mmである。